

経営比較分析表（令和4年度決算）

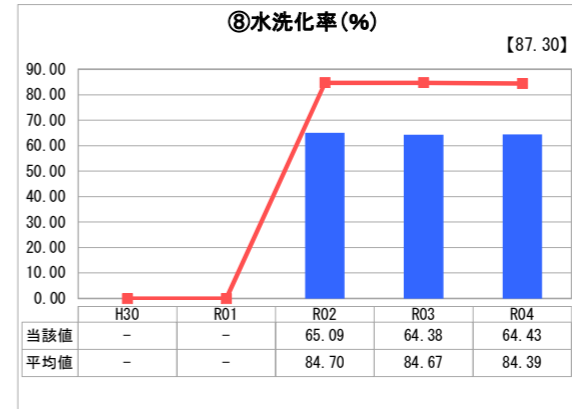
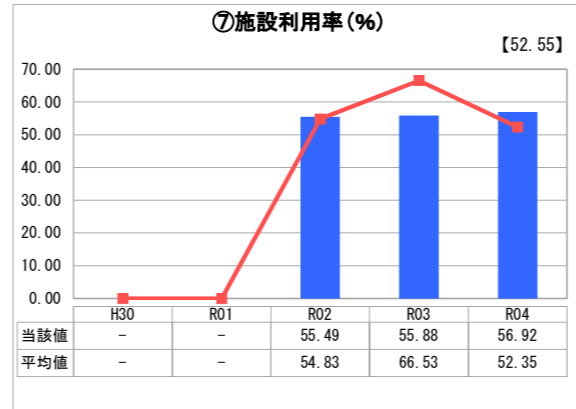
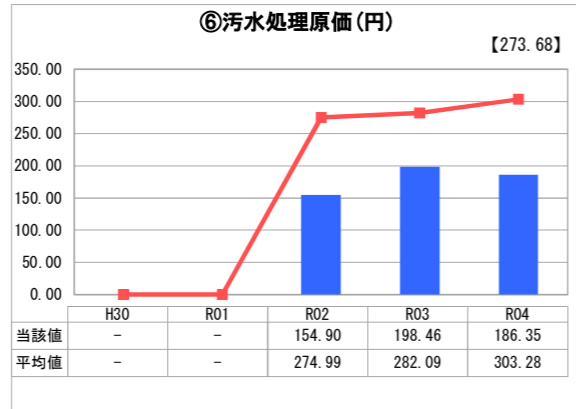
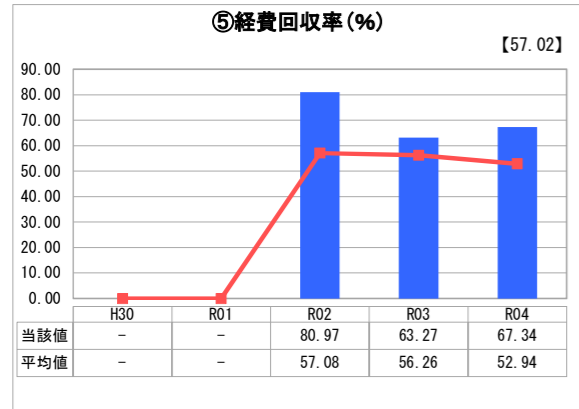
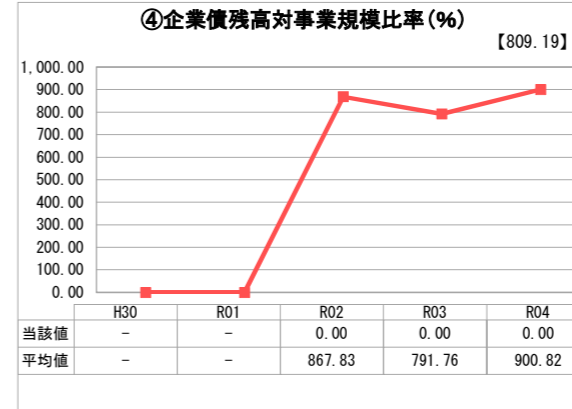
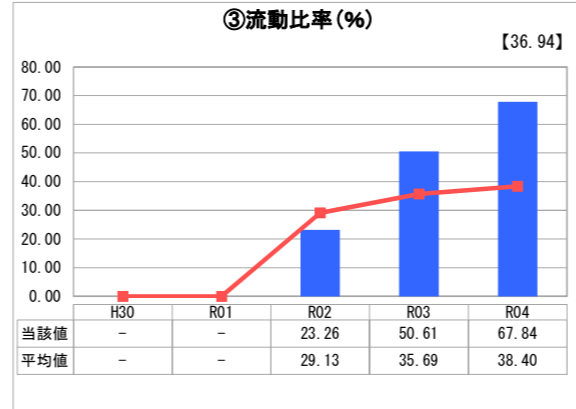
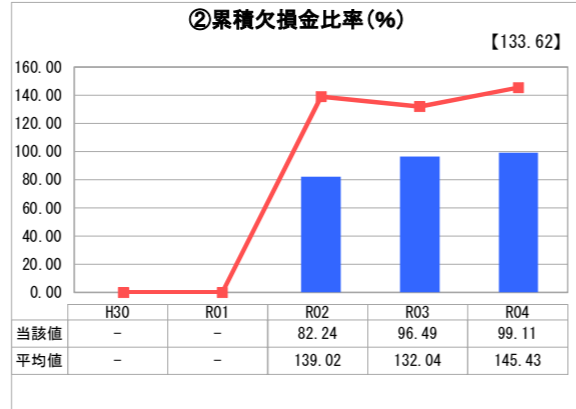
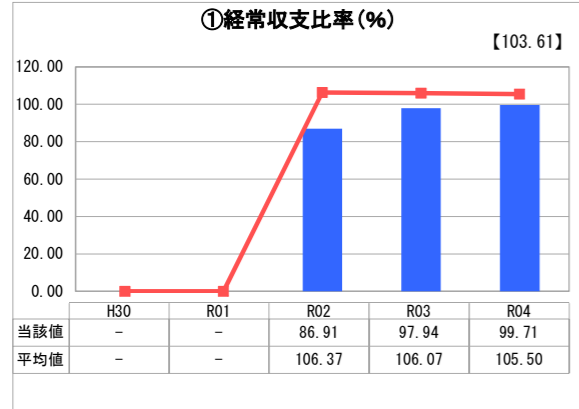
高知県 香南市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	53.53	15.36	93.04	2,420

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
33,009	126.46	261.02
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,069	2.11	2,402.37

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

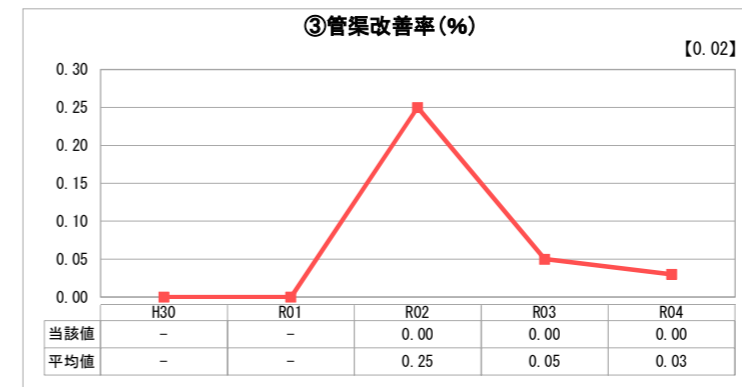
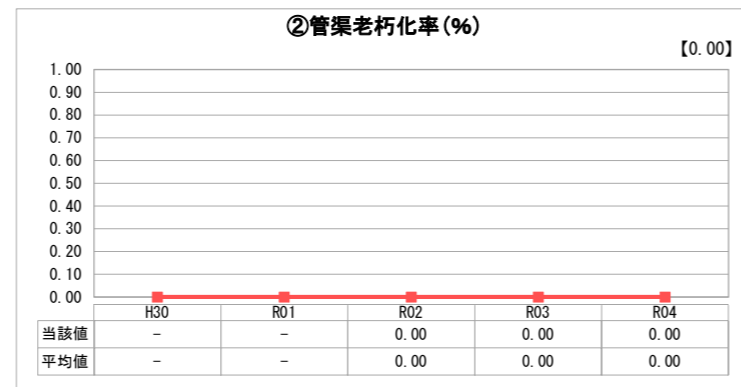
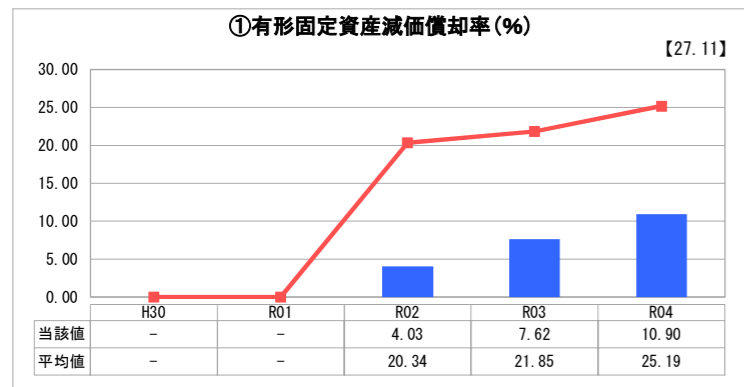
1. 経営の健全性・効率性について

経営の計画性、透明性の向上を目指して令和2年度から地方公営企業法の適用を開始し公営企業会計に移行しています。
 経常収支比率がR2年度に100%を大きく下回っている要因は、前年度に一般会計から繰入金を多く受入れ、次年度に繰り越したことによるものです。
 経費回収率は類似団体と比較して高いものの、100%以下であり、使用料収入では賄えていないのが現状であり、適正な使用料の確保及び汚水処理費の削減が必要です。
 汚水処理原価は類似団体と比較して低いが、供用開始から約25年以上経過している施設もあり、経年の変化も踏まえて汚水処理費の抑制や水洗化率の向上といった取り組みが必要です。

2. 老朽化の状況について

平成7年から供用開始しており、25年以上経過している施設があります。
 施設やマンホールポンプ場など、機能強化対策を平成22年から進めております。令和3年度から5カ年事業計画により3処理区で機能強化事業を進めており、今後も計画的に進めていく必要があります。
 また、不明水が多い処理区もあり、計画的に管渠調査を実施し、適切な汚水処理ができるよう実施します。

2. 老朽化の状況



全体総括

下水道事業経営は、経費が下水道使用料によって賄えておらず、多くを一般会計からの補助金に依存しており、健全な経営とはなっていません。
 収益は、加入率の向上を図るとともに、下水道使用料の見直し等による増加を図る取り組みが必要となっています。
 また、老朽化による修繕費の今後の増加が見込まれ、機能強化対策の計画に基づき改築更新により経費の平準化や、令和3年度から漁集排の統廃合に続き、農集排施設の統廃合を今後も進め、維持管理費の削減等を図り経営の健全化に取り組みます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。